

PET-CT検査を受けられる方への注意事項

《検査前日から検査直前まで》

運動は控えてください。
(ウォーキング、マッサージもダメ)

予約表に記載された時間以降は(検査5時間前から)、
絶対に食事をしないでください。

水分は、お茶や水道水にしてください。
飴、ガム、糖分を含むものは口にしないでください。
(人工甘味料もダメ)



糖尿病薬、インシュリン使用中の方は指示に従ってください。

PET-CT検査当日のながれ

- 来院 がん診療センター1階のPETCT受付に行きます。
- PET 受付 更衣後に注意事項や検査の流れを説明します。
- 問診 身長体重・血圧・血糖値を測定します。
- 注射 検査薬のFDGを注射後、水を500ml飲みます。
- 安静 薬剤が全身にいきわたるまで50分間安静にします。
- 撮影 排尿後、PET-CT装置で約30分の撮影をします。
- 休憩 体内の薬剤が十分軽減するまで約30分休憩します。
- 終了 排尿後、約15分の撮影をして終了です。



※来院から会計終了まで3時間ほどです。

※ 予約された検査日に都合が悪く来院できなくなった場合は
前日の 15:00 までに地域医療連携室(0143-47-4304)へ連絡ください。
前日が休日の場合は放射線科(0143-44-4650 代表)に連絡ください。

社会医療法人 製鉄記念室蘭病院

PET-CT検査のしくみ

PET検査(ペットけんさ)は、がんを検査する方法の一つです。

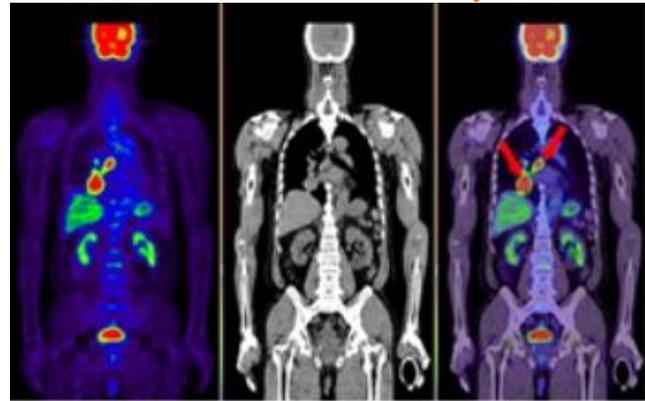
「PET」とは「陽電子放射断層撮影」という意味で、ポジトロン・エミッション・トモグラフィー(Positron Emission Tomography)の略です。

がん細胞は、正常な細胞に比べて活動が活発なため、3～8倍のブドウ糖を取り込むという特徴があります。PET検査は、その特徴を利用してたくさんブドウ糖を取り込んでいる細胞を探しがんを発見します。



ブドウ糖に近い成分(FDG)を体内に注射し、しばらくしてから全身をPETで撮影します。するとブドウ糖(FDG)が多く集まるところがわかり、体のどの部分にがんの疑いがあるかということがわかります。反応の強さで、悪性度も推測できます。

PET-CT検査は、PETとCT撮影を併用し、画像を重ねることで、場所が断定しやすくなります。また、PETでは反応が出にくかったり、判別が紛らわしい場合の診断も可能となります。



PET画像

CT画像

PET/CT合成画像

PET-CT検査の利点

より早期の発見が可能です。

- レントゲンなどで確認が難しかった小さながんでも、発見が可能になっています。

良・悪性の区別や、進行度合いが推定できます

- 良性・悪性の区別、がんの進行度合い、成長の仕方や性質が推定できます。

がん転移の判定が可能です

- 一度に全身を撮影して調べられるので、がんの広がり方を把握することに役立ちます。

痛みや負担も少なく、短時間で検査が可能です

- 最初に注射1本だけを受け、あとは横になっているだけで頭から膝上の検査が可能です。来院から会計終了まで3時間程度、実際の撮影は30分程度で終わります。

PET-CT よりお願い

※天候や交通事情により薬剤が遅れたり届かない場合や、突発的な装置の故障により検査ができなくなることがあります。その場合は検査を後日に変更させていただくことがありますことをご了承ください。

※予約日時の数日前にPET検査の担当者より事前確認の電話をさしあげます。その際に、質問等ございましたら遠慮なくお申し付けください。